

お知らせ

平成 30 年 3 月 12 日
九州電力株式会社

川内原子力発電所 1 号機の第 23 回定期検査の状況をお知らせします

— 調査により漏えい燃料集合体を特定 —

川内原子力発電所 1 号機（加圧水型軽水炉、定格電気出力 89 万 kW）は、平成 30 年 1 月 29 日から実施している第 23 回定期検査において、原子炉容器から燃料集合体全数 157 体を取り出し、漏えい燃料集合体を特定する調査を実施した結果、1 体に漏えいが認められました。

漏えいが認められた燃料集合体については、今後、詳細調査*を実施し、その結果は、改めてお知らせします。

定期検査の実施にあたっては、引き続き、安全確保を最優先に、検査や作業を一つひとつ丁寧に進め、今後の安全・安定運転に万全を期してまいります。

以 上

※燃料棒への浸水の有無を超音波により判定し、漏えい燃料棒を特定後、異物の混入、損傷及び著しい腐食等を確認するためファイバースコープを用いて燃料棒の表面状態を観察し、異常の有無を確認する。

ずっと先まで、明るくしたい。

「快適で、そして環境にやさしい」
そんな毎日を子どもたちの未来につなげていきたい。
それが、私たち九電グループの思いです。